

Tabs for ASP.NET Web Forms

2018.04.10 更新

グレースィティ株式会社

目次

製品の概要	2
ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ	2
主な特長	3
クイックスタート	4
手順 1: ページへの C1Tabs の追加	4
手順 2: C1Tabs デザイナフォームでの作業	4
手順 3: コントロールへのコンテンツの追加	4-5
デザイン時のサポート	6
C1Tabs スマートタグ	6
C1Tabs コンテキストメニュー	6-7
C1Tabs デザイナフォーム	7-10
C1Tabs の要素	11
テーマ	11-13
タブストリップの配置	13-14
C1Tabs の動作	15
キーボードアクセス	15
ツールチップ	15
選択インデックス	15
タスク別ヘルプ	16
テーマの利用	16
組み込みテーマの使用	16-17
C1Tabs コントロールへのタブページの追加	17-18
コードによる C1Tabs コントロールの作成	18-20
タブページのコンテンツの追加と操作	20
C1Tabs へのコントロールの追加	20-21
C1Tabs のタブページへのテキストの追加	21-22
配置の変更	22-24
選択インデックスの変更	24-25

製品の概要

Tabs for ASP.NET Web Forms を使用して、Web コンテンツを簡単に整理および移動します。各タブのコンテンツの全ページをホストします。

ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ

ComponentOne for ASP.NET Web Forms の各コントロールで共通したトピック、アセンブリの追加、テーマの適用、クライアント側情報などについては「[ASP.NET Web Forms ユーザーガイド](#)」を参照してください。

主な特長

C1Tabs には、次の役に立つ主な機能があります。

- **タブの向き**
デフォルトで、**C1Tabs** は上部に水平方向で表示されます。表示位置は右部分、左部分、または下部分に簡単に変更することができます。
- **ホスト外部コンテンツ**
外部コンテンツをページ内にホストします。プロジェクト内の別の Web ページのコンテンツまたはプロジェクト外の Web サイトのコンテンツを表示します。
- **Scrollable**
scrollable オプションを true に設定すると、タブの数が多すぎてタブの幅に収まらないときに、タブが折り返されずスクロールして表示されます。
- **タブの追加／削除**
addTab 関数を使用してタブを動的に追加します。また、タブ上の「x」をクリックして個々のタブを閉じる機能を含めることもできます。
- **アニメーション**
エンドユーザーがタブページをナビゲートする場合の遷移効果を追加します。組み込みのアニメーションから選択するか、独自のカスタム効果を追加します。
- **テーマ**
スマートタグをクリックするだけで、6種類のプレミアムテーマ (Arctic、Midnight、Aristo、Rocket、Cobalt、および Sterling) のいずれかを選択して外観を変更します。オプションとして、jQuery UI から ThemeRoller を使用してカスタマイズしたテーマを作成します。
- **CSS のサポート**
CSS (Cascading Style Sheet) のスタイルを使用して、カスタムスキンを定義します。

クイックスタート

このクイックスタートでは、ナビゲーションコントロールを使用して単純なページ化された領域を Web サイト内に作成し、**C1Tabs** コントロールの機能を紹介します。

手順 1: ページへの C1Tabs の追加

この手順では、まずページに **C1Tabs** コントロールを追加します。

開始するには、以下の手順を実行します。

1. 新しい ASP.NET Web サイトプロジェクトを作成します
2. ドキュメントウィンドウのすぐ下の「**デザイン**」タブをクリックして、デザインビューに切り替えます。
3. Visual Studio ツールボックスに移動し、**C1Tabs** をダブルクリックして、ページにコントロールを追加します。Web ページに空の **C1Tabs** コントロールが組み込まれます。

手順 2: C1Tabs デザイナフォームでの作業

C1Tabs デザイナフォームを使用すると、**C1Tabs** コントロールや各 **C1TabPage** を簡単にカスタマイズできます。この手順では、**C1Tabs** デザイナフォームを使用して、3つの **C1TabPage** を **C1Tabs** コントロールに追加し、その動作を変更します。

以下の手順を実行します。

1. **C1Tabs** のスマートタグをクリックして[**C1Tabs** タスク]メニューを開き、**デザイナを開く**を選択します。**C1Tabs** デザイナフォームが開きます。
2. **C1Tabs** デザイナフォームで、〈**子項目の追加**〉ボタンをクリックし、**C1TabPage** をコントロールに追加します。
3. 〈**子項目の追加**〉ボタンをもう一度クリックし、別の **C1TabPage** を **C1Tabs** コントロールに追加します。
4. **C1Tabs1** を選択し、プロパティグリッドで以下のプロパティを設定します。
 - **Height** プロパティを「**300px**」に設定します。
 - **Width** プロパティを「**400px**」に設定します。
5. 〈**OK**〉をクリックして**C1Tabs** デザイナフォームを保存し、閉じて、**C1Tabs** コントロールにタブが2つあることを確認します。



次の手順では、**C1Tabs** コントロールにコンテンツを追加し、その外観をカスタマイズします。

手順 3: コントロールへのコンテンツの追加

この手順では、**C1Tabs** コントロールにコンテンツを追加します。コントロールのボディをクリックしてテキストを入力するか、ツールボックスからコントロールを追加することで、簡単にコントロールにコンテンツを追加することができます。

以下の手順を実行し、**C1Tabs** コントロールのページに標準コントロールとテキストコンテンツを追加します。

Tabs for ASP.NET Web Forms

1. **C1Tabs** コントロールのコンテンツ領域内でクリックし、「タブページ1です。」を入力します。
C1Tabs コントロールの最初のページにテキストコンテンツが追加されます。
2. ソースビューに切り替えて **C1Tabs** コントロールの構造を確認し、以下に示す タグを2番目の手順の `<cc1:C1TabsStep>` に追加します。その結果次のように示されます。

ソースビュー

```
<cc1:C1TabPage Text="タブ2" ID="Tab2" runat="server">  
    <asp:Calendar ID="Calendar1" runat="server"></asp:Calendar>  
</cc1:C1TabPage>
```

これにより、**C1Tabs** コントロールの2ページ目に Calendar コントロールが追加されます。

3. [F5]を押してアプリケーションを実行し、最初のタブページがフォーカスされた状態で**C1Tabs** コントロールが表示されることを確認します。



4. 「Tab2」をクリックして、2番目のタブページがフォーカスされることを確認します。



デザイン時のサポート

以下の各セクションでは、**C1Tabs** のデザイン時環境を使用して、**C1Tabs** コントロールを設定する方法について説明します。

C1Tabs スマートタグ

C1Tabs コントロールには、Visual Studio のスマートタグ (🔗) が含まれています。スマートタグは、**C1Tabs** で最もよく使用されるプロパティを提供するショートカットのタスクメニューを表します。

[**C1Tabs タスク**]メニューにアクセスするには、**C1Tabs**コントロールの右上端にあるスマートタグをクリックします。



[**C1Tabs タスク**]メニューは次のように動作します。

- デザイナを開く**
デザイナを開くをクリックすると、プロパティウィンドウをスクロールしなくても **C1Tabs** の要素を手軽に設定できる **C1Tabs** デザイナフォームが開きます。コントロールのコンテンツをロードし、保存して、コントロールに **C1Tabs** を追加できます。
- テーマ**
 テーマを組み込みスキンの1つに設定します。
- 新しいテーマの作成**
[新しいテーマの作成]オプションをクリックすると、**ThemeRoller for Visual Studio** が開きます。したがって、開発環境内でテーマをカスタマイズすることができます。アプリケーションで **ThemeRoller for Visual Studio** を使用する方法については、「[ThemeRoller for Visual Studio](#)」を参照してください。
- CDN の使用**
[CDN の使用]チェックボックスを ON にすると、CDN からクライアントリソースがロードされます。これはデフォルトで OFF です。
- CDN パス**
 CDN の URL パスを表示します。
- Bootstrap の使用**
[Bootstrap の使用]オプションを選択すると、コントロールに Bootstrap テーマを適用することができます。アプリケーションで Bootstrap テーマを使用する方法については、「[Bootstrap for ASP.NET Web Forms クイックスタート](#)」を参照してください。
- バージョン情報**
[バージョン情報]をクリックすると、製品のバージョン情報を確認できるダイアログボックスが表示されます。

C1Tabs コンテキストメニュー

C1Tabs には、Visual Studio がすべての .NET コントロールや ASP.NET コントロールに提供しているコンテキストメニューで利

Tabs for ASP.NET Web Forms

用できる追加機能があります。

C1Tabs コントロール上の任意の場所を右クリックし、C1Tabs のコンテキストメニューを表示します。



コンテキストメニューのコマンドは、以下のように動作します。

- **スマートタグの表示**
[スマートタグの表示]をクリックすると、[C1Tabs タスク]メニューが開きます。
- **デザイナを開く**
[デザイナを開く]をクリックすると、C1Tabs デザイナフォームが開き、C1TabPage の追加、削除、および並べ替えができます。このフォームで、C1Tabs のプレビューや、各 C1TabPage の外観、動作などのさまざまなプロパティの設定もできます。

C1Tabs デザイナフォーム

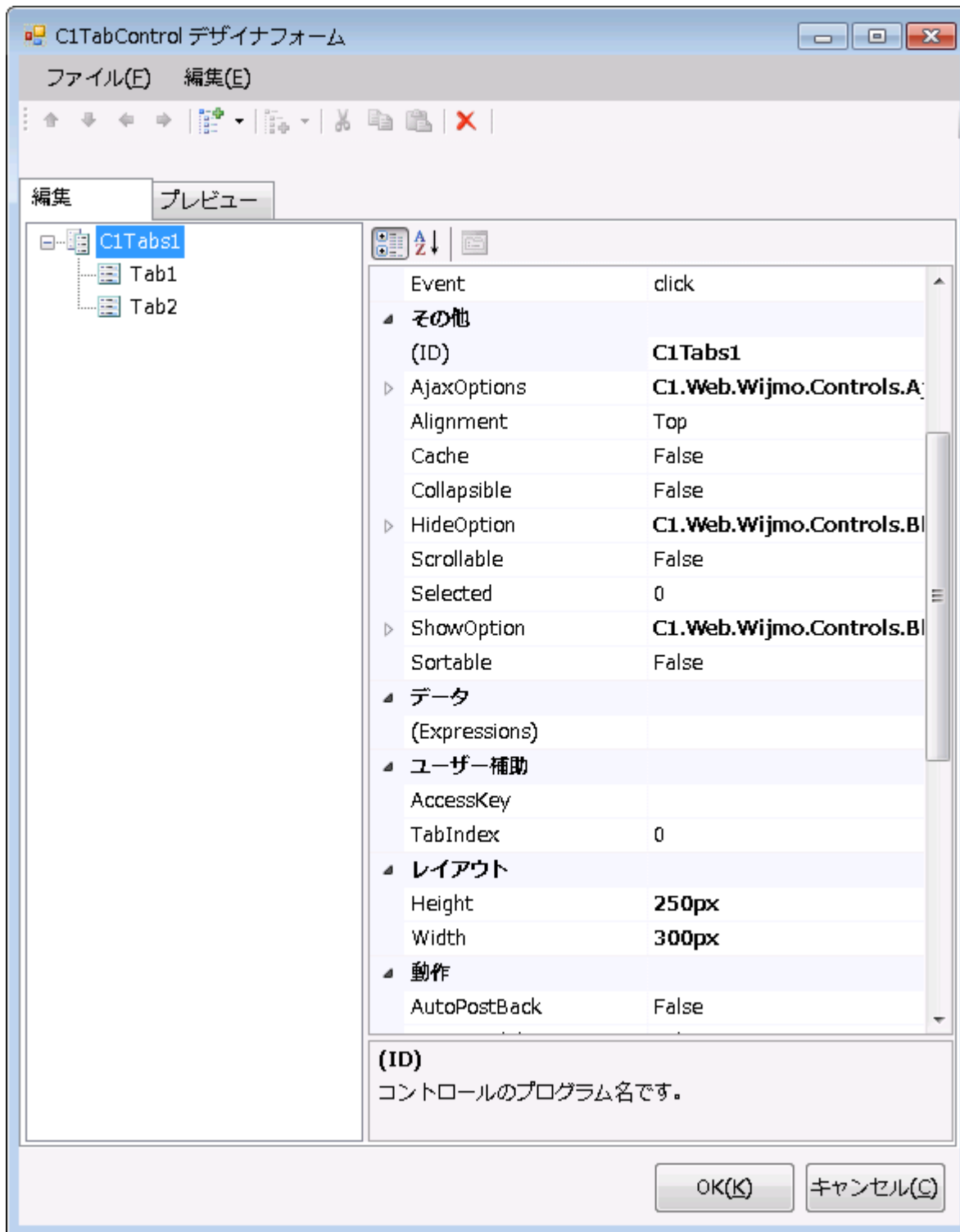
C1Tabs デザイナフォームは、コントロールのプロパティや C1Tabs のプロパティを編集できる C1Tabs のデザイナです。C1Tabs デザイナフォームは、コントロールを視覚的に修正できる点でプロパティウィンドウに似ています。ただし、このデザイナでは、C1Tabs およびC1TabPage の選択、それらのプロパティの設定、C1TabPage の位置の操作、それに C1Tabs コントロールの外観のプレビューがすべてフォーム内でできます。

このトピックでは、C1Tabs デザイナフォームのデザインインターフェイスに精通することにより、デザイナ内でコマンドを使用し、最小限の労力と時間でC1Tabs を編集できるようになります。

C1Tabs デザイナフォームを開くには、C1Tabs のスマートタグをクリックし、[C1Tabs タスク]メニューから[デザイナを開く]リンクを選択します。

C1Tabs デザイナフォームの機能

C1Tabs デザイナフォームには、メニュー、ツールバー、「編集」タブ、「プレビュー」タブ、およびプロパティペインが含まれています。



● C1Tabs デザイナフォームのメニュー

C1Tabs デザイナフォームのメニューには、次のメニュー項目とサブ項目が含まれています。











メニュー項目	サブメニュー項目	説明
ファイル	終了	C1Tabs デザイナフォームを閉じます。
編集	項目の挿入	タブやセパレータのリスト内の指定された場所に C1TabPage を挿入します。

Tabs for ASP.NET Web Forms

子の追加	選択された C1Tabs の子として C1TabPage を追加します。
切り取り	項目リスト内で移動するために、選択された C1TabPage を切り取ります。
コピー	選択された C1TabPage をコピーします。
貼り付け	項目リスト内の指定された場所に C1TabPage を貼り付けます。
削除	選択された C1TabPage を削除します。
名前の変更	C1TabPage の名前を変更できます。

- **C1Tabs デザインフォームのツールバー**

下の表で、各ボタンについて説明します。

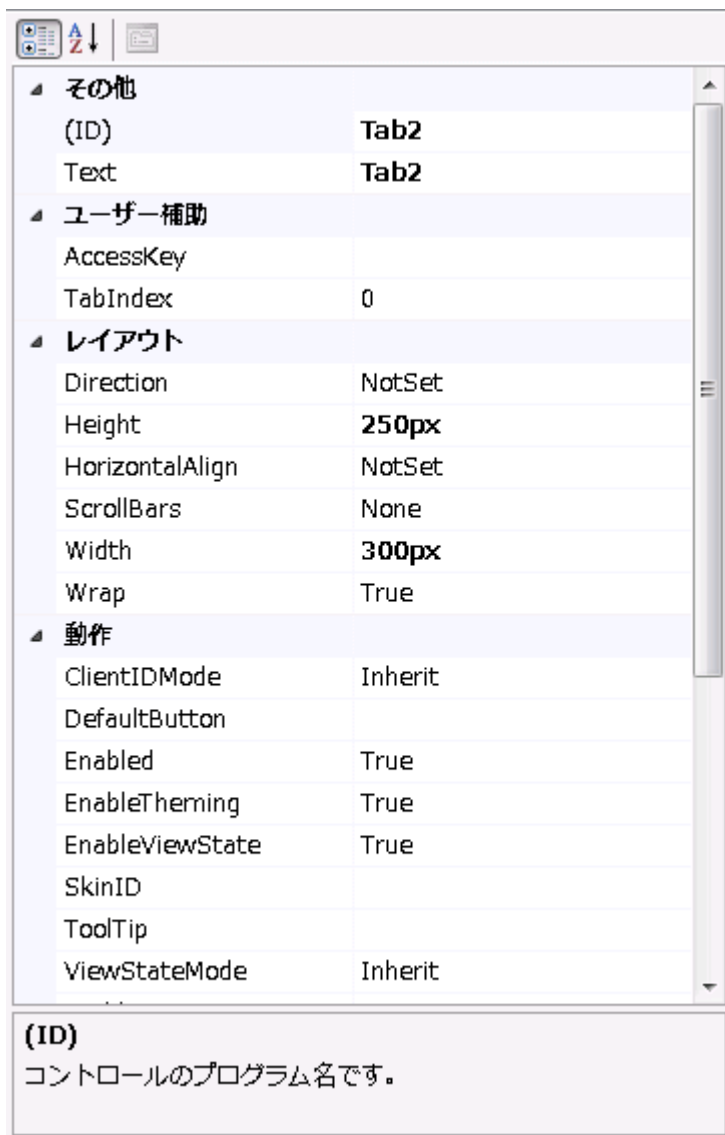
ボタン	名前	説明
	項目を上へ移動	選択された C1TabPage をアイテムリストの上へ移動します。
	アイテムを下へ移動	選択された C1TabPage をアイテムリストの下へ移動します。
	アイテムを左へ移動	メニュー階層内で、選択された C1TabPage を左へ移動します。
	アイテムを右へ移動	メニュー階層内で、選択された C1TabPage を右へ移動します。
	子項目の追加	C1TabPage を C1Tabs コントロールの子として挿入します。
	項目の挿入	項目リスト内の指定された場所に C1TabPage を挿入します。
	切り取り	項目リスト内で移動するために、選択された C1TabPage を切り取ります。
	コピー	選択された C1TabPage をコピーします。
	貼り付け	項目リスト内の指定された場所に C1TabPage を貼り付けます。
	削除	選択された C1TabPage を削除します。

- 「編集」タブ



「編集」タブをクリックし、プロパティの操作や調節を行う**C1Tabs** コントロールまたは目的の **C1TabPage** を選択します。

- 「プレビュー」タブ



C1Tabs デザイナフォームのプロパティペインは、Visual Studio のプロパティウィンドウとほぼ同じです。ここでは、単純に **C1Tabs** または**C1TabPage** を選択し、目的のプロパティを設定します。

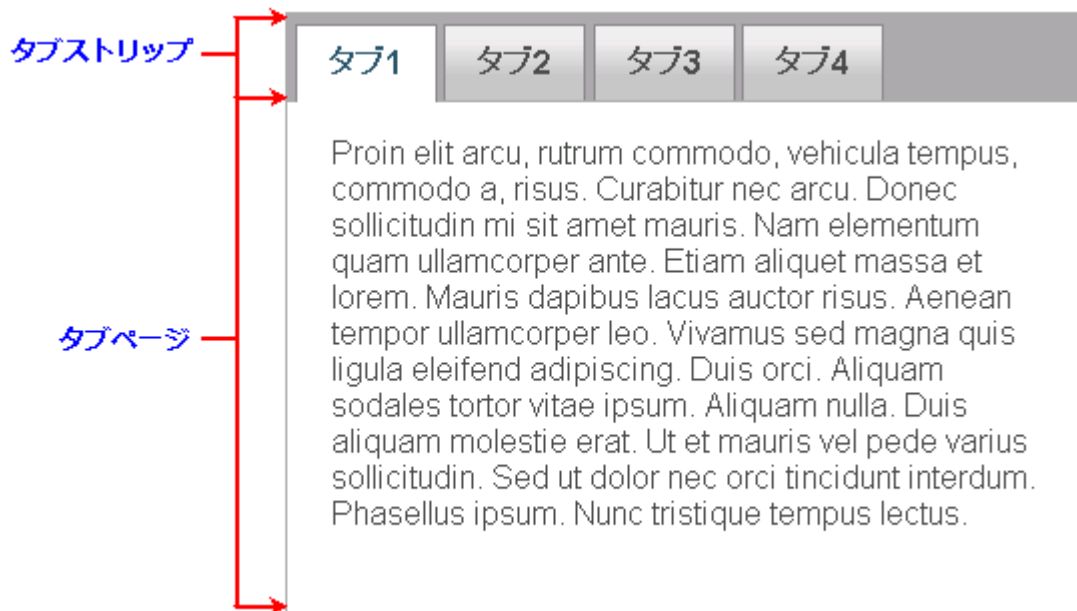
● コマンドボタン

次の表は、コマンドボタンの一覧です。

ボタン	説明
OK	〈OK〉をクリックすると、新しい設定値が C1Tabs コントロールに適用されます。
キャンセル	〈キャンセル〉をクリックすると、 C1Tabs デザイナフォームが閉じて新しい設定値は破棄され、デフォルト設定値が C1Tabs コントロールに適用されます。

C1Tabs の要素

C1Tabs は、実質的にはウィザードコントロールとタブストリップを組み合わせたものです。**C1Tabs** は、(**C1TabPage** クラスで表される)複数のページを、1ページずつ表示するために使用されます。C1Tabs のナビゲーションは、統合されたタブストリップで処理されます。



タブストリップ

C1Tabs のタブストリップは、コントロールのページをナビゲートするために使用されます。各タブは、1つの **C1TabPage** に関連付けられています。タブストリップは、コントロールの上部、下部、左、右のいずれかに配置できます。

タブページ

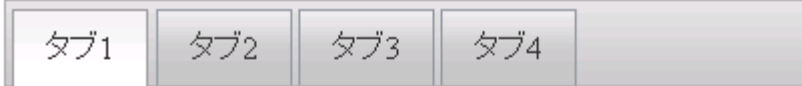


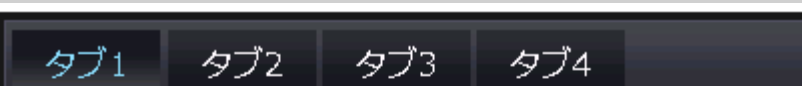
C1Tabs のタブページは、書式付きテキスト、コントロール、テーブルなど、さまざまな要素を保持することができます。また、**C1Tabs** には、**C1TabPage** タグ内でサーバーコントロールを宣言するだけで、任意のコントロールを追加できます。たとえば、次のマークアップでは、Button サーバーコントロールが C1Tabs の最初のページ内に追加されます。

ソースビュー



```
<cc1:C1TabPage ID="C1TabPage01" runat="server">
  <asp:Button ID="Button1" runat="server" Text="ボタン" />
</cc1:C1TabPage>
```

テーマ

C1Tabs には、コントロールの外観を簡単に変更できるテーマが容易されています。このコントロールには、6種類の組み込みテーマが含まれており、アプリケーションのコントロールをすばやくカスタマイズできます。

<p>Arctic</p>	 <p>タブ1 タブ2 タブ3 タブ4</p> <p>Proin elit arcu, rutrum commodo, vehicula tempus, commodo a, risus. Curabitur nec arcu. Donec sollicitudin mi sit amet mauris. Nam elementum quam ullamcorper ante. Etiam aliquet massa et lorem. Mauris dapibus lacus auctor risus. Aenean tempor ullamcorper leo. Vivamus sed magna quis ligula eleifend adipiscing. Duis orci. Aliquam sodales tortor vitae ipsum. Aliquam nulla.</p>
<p>Aristo</p>	 <p>タブ1 タブ2 タブ3 タブ4</p> <p>Proin elit arcu, rutrum commodo, vehicula tempus, commodo a, risus. Curabitur nec arcu. Donec sollicitudin mi sit amet mauris. Nam elementum quam ullamcorper ante. Etiam aliquet massa et lorem. Mauris dapibus lacus auctor risus. Aenean tempor</p>
<p>Cobalt</p>	 <p>タブ1 タブ2 タブ3 タブ4</p> <p>Proin elit arcu, rutrum commodo, vehicula tempus, commodo a, risus. Curabitur nec arcu. Donec sollicitudin mi sit amet mauris. Nam elementum quam ullamcorper ante. Etiam aliquet massa et lorem. Mauris dapibus lacus auctor risus. Aenean tempor</p>
<p>Midnight</p>	 <p>タブ1 タブ2 タブ3 タブ4</p> <p>Proin elit arcu, rutrum commodo, vehicula tempus, commodo a, risus. Curabitur nec arcu. Donec sollicitudin mi sit amet mauris. Nam elementum quam ullamcorper ante. Etiam aliquet massa et lorem. Mauris dapibus lacus auctor risus. Aenean tempor</p>



Tabs for ASP.NET Web Forms

Rocket	 <p>Proin elit arcu, rutrum commodo, vehicula tempus, commodo a, risus. Curabitur nec arcu. Donec sollicitudin mi sit amet mauris. Nam elementum quam ullamcorper ante. Etiam aliquet massa et lorem. Mauris dapibus lacus auctor risus. Aenean tempor</p>
Sterlin	 <p>Proin elit arcu, rutrum commodo, vehicula tempus, commodo a, risus. Curabitur nec arcu. Donec sollicitudin mi sit amet mauris. Nam elementum quam ullamcorper ante. Etiam aliquet massa et lorem. Mauris dapibus lacus auctor risus. Aenean tempor</p>

タブストリップの配置

C1Tabs のタブストリップ要素は、コントロールの4つの領域、上、下、左、右のいずれかに表示できます。タブストリップの位置は、Direction プロパティによって処理されます。

各設定の例については、下の図を参照してください。

向き	例
上	
下	

左



右



C1Tabs の動作

以下のトピックでは、**C1Tabs** コントロールの動作に関する機能について説明します。これらの機能の中には、ロード時のコントロールの動作に影響を与えるものや、ユーザーによるコントロールのインタラクティブ操作に影響を与えるものがあります。

キーボードアクセス

Tabs for ASP.NET Web Forms では、**C1Tabs** コントロールと各タブページに対してキーボード操作がサポートされています。この機能は、タブストリップ全体については **C1Tabs.AccessKey** プロパティにアクセスキーを設定し、個々のタブについては **C1TabPage.AccessKey** プロパティにアクセスキーを設定することによって有効にできます。**AccessKey** プロパティを設定すると、キーボードで[ALT]キーとアクセスキーを同時に押すことによって要素にアクセスできます。

ツールチップ

ToolTip プロパティを使用して、使いやすいインターフェースを作成できます。ツールチップは、ユーザーインターフェースの要素に関する情報や指示をユーザーに提供する、グラフィックユーザーインターフェースの要素です。ユーザーがこのインターフェース要素上にマウスポインタを置くと、追加情報が記載されたボックスが表示されます。

ツールチップは、**ToolTip** プロパティを文字列に設定することによって、**C1Tabs** コントロールの各タブページに適用できます。コントロールの最初のタブにツールチップを設定する場合は、次のコードを使用します。

Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
TabPage1.ToolTip = "Hello World!"
```

C# コードの書き方

```
C#
TabPage1.ToolTip = "Hello World!";
```

C1TabPage.ToolTip プロパティは、デザインビューまたはソースビューでも設定できます。

選択インデックス

C1Tabs コントロールのタブページには、ゼロベースのインデックスが付けられます。つまり、最初のタブページのインデックスはゼロです。デフォルトでは、**Selected** プロパティは 0 に設定され、実行時には最初のタブが選択されます。実行時に選択されるタブとタブページを変更するには、**Selected** プロパティをインデックス内の別の値に設定します。たとえば、4つのタブがあり、実行時に最後のページが選択されるようにする場合は、**Selected** プロパティを3に設定します。

タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプセクションでは、Visual Studio ASP.NET 環境でのプログラミングに精通し、**Tabs for ASP.NET Web Forms** コントロールを全般的に理解しているユーザーを対象としています。

各トピックでは、**C1Tabs** コントロールを使用した特定のタスクのソリューションを示します。各トピックで説明されている手順に従うことによって、さまざまな **C1Tabs** 機能を使用したプロジェクトを作成できます。

テーマの利用


このセクションのトピックは、組み込みテーマとカスタムテーマを利用する方法を示します。

組み込みテーマの使用

C1Tabs コントロールには、ほんの数クリックで適用できる6種類の組み込みテーマが用意されています。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードでテーマを変更する方法を説明します。テーマについての詳細は、「[テーマ](#)」を参照してください。

デザインビューでのテーマの変更

以下の手順を実行します。

1. **C1Tabs** スマートタグ () をクリックして、[**C1Tabs タスク**] メニューを開きます。
2. [テーマ] ドロップダウン矢印をクリックして、リストからテーマを選択します。この例では、rocket を選択します。



rocket テーマが **C1Tabs** コントロールに適用されます。

ソースビューでのテーマの変更

ソースビューで **C1Tabs** のテーマを変更するには、`VisualStyle="rocket"` を、次のように `<cc1:C1Tabs>` タグに追加します。

```
ソースビュー
<cc1:C1Tabs ID="C1Tabs1" runat="server" Theme="rocket"/>
```

コードでのテーマの変更

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
```

```
Imports Cl.Web.Wijmo.Controls
```

C# コードの書き方

```
C#
```

```
using Cl.Web.Wijmo.Controls;
```

2. **C1TargetControlBase.Theme** プロパティを設定する次のコードを、**Page_Load** イベントに追加します。

Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
```

```
C1Tabs1.Theme = "rocket"
```

C# コードの書き方

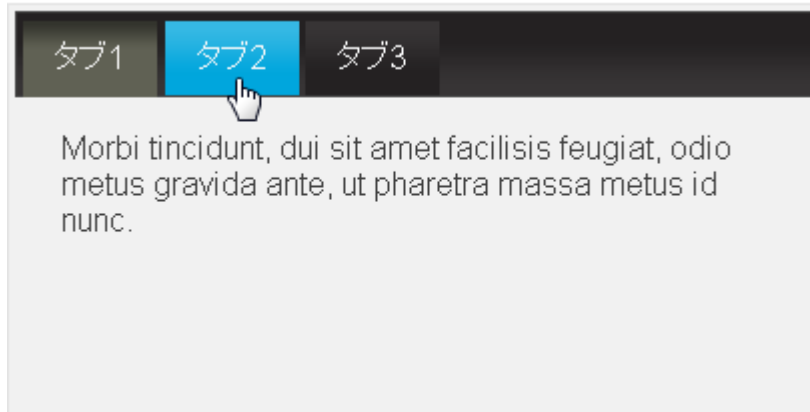
```
C#
```

```
C1Tabs1.Theme = "rocket";
```

3. プログラムを実行します。

✔このトピックの作業結果

次の図は、**rocket** テーマが設定された **C1Tabs** コントロールを示しています。



C1Tabs コントロールへのタブページの追加

このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードで、**C1Tabs** コントロールにタブページを追加する方法を説明します。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. スマートタグをクリックして、**[C1Tabs タスク]**メニューを開きます。**デザイナを開く**を選択します。**[C1Tabs デザイナフォーム]**ダイアログボックスが開きます。
2. <子項目の追加>ボタンをクリックし、**C1TabPage** を **C1Tabs** コントロールに追加します。ツリービューに「Tab1」と表示されます。
3. <OK>をクリックして、**[C1Tabs デザイナフォーム]**ダイアログボックスを閉じます。

ソースビューの場合

ソースビュー

```
<cc1:C1TabPage ID="Tab1" runat="server" Text="タブ1"> </cc1:C1TabPage>
```

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Imports Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Tabs
```

C# コードの書き方

C#

```
using Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Tabs;
```

2. 次のコードを Page_Load イベントに追加します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Dim TabPage1 As New C1TabPage()
TabPage1.Text = "タブページ1"
C1Tabs1.Controls.Add(TabPage1)
```

C# コードの書き方

C#

```
C1TabPage TabPage1 = new C1TabPage();
TabPage1.Text = "タブページ1";
C1Tabs1.Controls.Add(TabPage1);
```

コードによる C1Tabs コントロールの作成

場合によっては、コードで **C1Tabs** コントロールをプロジェクトに追加する必要があるかもしれません。このトピックでは、C# と Visual Basic のコードを使用して、3つの **C1TabPage** オブジェクトを持つ **C1Tabs** コントロールを作成する方法を学びます。

以下の手順を実行します。

1. **PlaceHolder** コントロールをページに追加します。
2. デザインビューで、ページをダブルクリックして **Page_Load** イベントをプロジェクトに追加し、コードエディタに切り替えます。
3. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

Tabs for ASP.NET Web Forms

```
Imports Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Tabs
```

C# コードの書き方

C#

```
using Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Tabs;
```

4. **C1Tabs** オブジェクトを作成し、その **Width** プロパティと **Height** プロパティを設定してから、**Page_Load** イベントに次のコードを配置することによって、そのオブジェクトをプロジェクトに追加します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Dim NewTabs As C1Tabs = New C1Tabs()  
NewTabs.Width = 300  
NewTabs.Height = 200  
Placeholder1.Controls.Add(NewTabs)
```

C# コードの書き方

C#

```
C1Tabs NewTabs = new C1Tabs();  
NewTabs.Width = 300;  
NewTabs.Height = 200;  
Placeholder1.Controls.Add(NewTabs);
```

5. 3つの **C1TabPage** オブジェクトを作成し、それらを **C1Tabs** に追加します。このコードは、**Page_Load** イベントにも追加する必要があります。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
'3つの C1TabPage オブジェクトを作成  
Dim C1TabPage1 As C1TabPage = New C1TabPage()  
Dim C1TabPage2 As C1TabPage = New C1TabPage()  
Dim C1TabPage3 As C1TabPage = New C1TabPage()  
'TabPage の Text プロパティを設定  
C1TabPage1.Text = "C1タブページ1"  
C1TabPage2.Text = "C1タブページ2"  
C1TabPage3.Text = "C1タブページ3"  
'3つの C1TabPage オブジェクトを C1Tabs に追加  
NewTabs.Controls.Add(C1TabPage1)  
NewTabs.Controls.Add(C1TabPage2)  
NewTabs.Controls.Add(C1TabPage3)
```

C# コードの書き方

C#

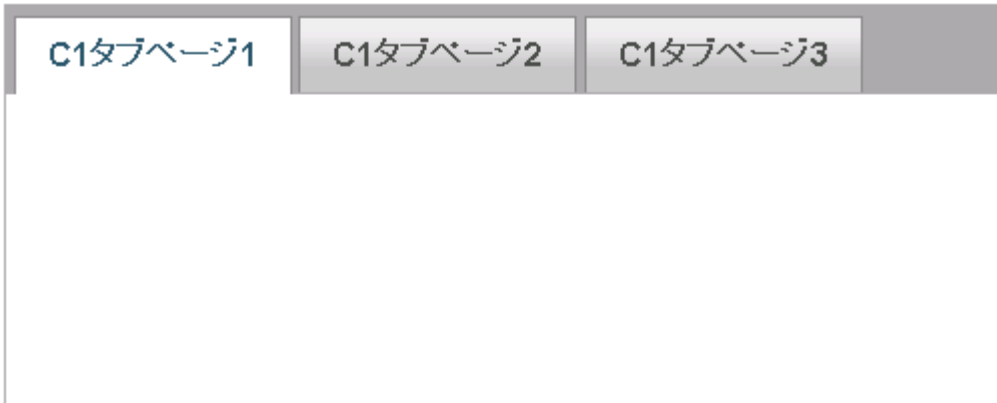
```
// 3つの C1TabPage オブジェクトを作成  
C1TabPage C1TabPage1 = new C1TabPage();  
C1TabPage C1TabPage2 = new C1TabPage();  
C1TabPage C1TabPage3 = new C1TabPage();  
// tabPage の Text プロパティを設定
```

```
C1TabPage1.Text = "C1タブページ1";
C1TabPage2.Text = "C1タブページ2";
C1TabPage3.Text = "C1タブページ3";
// 3つの C1Tab オブジェクトを C1Tabs に追加
NewTabs.Controls.Add(C1TabPage1);
NewTabs.Controls.Add(C1TabPage2);
NewTabs.Controls.Add(C1TabPage3);
```

6. プログラムを実行します。

✔このトピックの作業結果

プロジェクトが実行されると、**C1Tabs** コントロールは次の図のようになります。



タブページのコンテンツの追加と操作

C1Tabs コントロールでは、任意のコントロールの組み込み、テキストの表示、および外部コンテンツの表示が可能です。説明されている**C1Tabs** コントロールのページへコンテンツを追加する方法について説明します。

C1Tabs へのコントロールの追加

ドラッグ & ドロップ操作や、XHTML、またはコードを使用して、**C1Tabs** の個々のページに任意のコントロールを追加できます。このトピックでは、標準 **Button** コントロールをタブページに追加する方法について説明します。このトピックは、コントロールに少なくとも1つのタブページを追加済みであることが前提となります（「[C1Tabs コントロールへのタブページの追加](#)」を参照してください）。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. デザイナーで、コントロールを追加するタブを選択します。タブを選択するには、**C1Tabs** コントロールを選択し、タブをクリックします。
2. Visual Studio ツールボックスから **Button** コントロールを選択し、それを **C1TabPage** にドラッグします。

ソースビューの場合

以下の手順を実行します。

1. コントロールを追加するタブページの `<cc1:C1TabPage>` タグを選択し、それらの間に次のタグを記述します。`<asp:Button ID="Button1" runat="server" Text="Hello World" />`
2. プログラムを実行し、**Button** コントロールがタブページに表示されていることを確認します。

コードの場合

Tabs for ASP.NET Web Forms

以下の手順を実行します。

1. 次のコードを **Page_Load** イベントに入力して、**Button** コントロールを作成してテキストを追加します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Dim nuButton As Button = New Button()  
nuButton.Text = "Hello World!"
```

C# コードの書き方

Title Text

```
Button nuButton = new Button();  
nuButton.Text = "Hello World!";
```

2. **Button** コントロールをタブページに追加します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
C1TabPage1.Controls.Add(nuButton)
```

C# コードの書き方

Title Text

```
C1TabPage1.Controls.Add(nuButton);
```

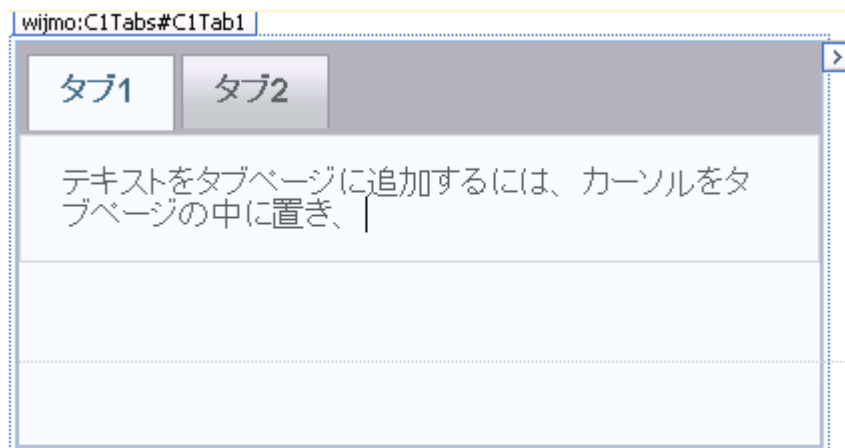
3. プログラムを実行し、**Button** コントロールがタブページに表示されていることを確認します。

C1Tabs のタブページへのテキストの追加

このトピックでは、デザイナーと XHTML マークアップを使用して、テキストを **C1Tabs** コントロールに追加する方法を学びます。

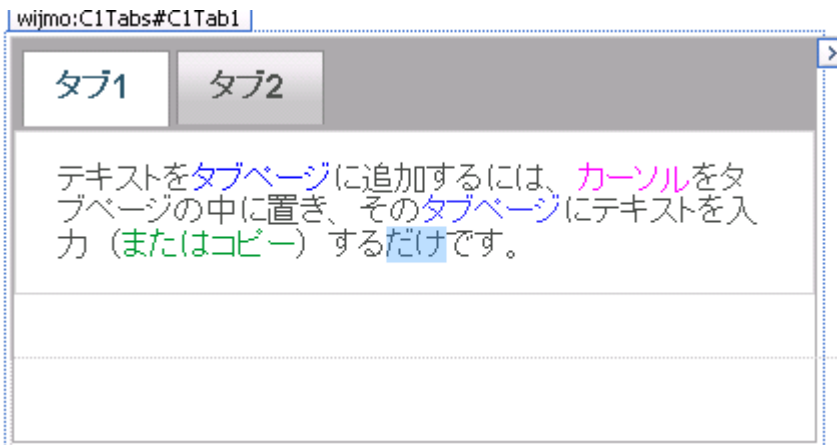
デザインビューの場合

テキストをタブページに追加するには、カーソルをタブページの中に置き、そのタブページにテキストを入力(またはコピー)するだけです。



テキストをタブページに追加したら、Visual Studio の書式設定ツールバー(このツールバーを表示するには、[表示]→[ツ

ルバー]→[書式設定]を選択)を使用して、テキストを書式設定できます。下の図は、書式設定済みテキストが表示された **C1TabPage** を示しています。



ソースビューの場合

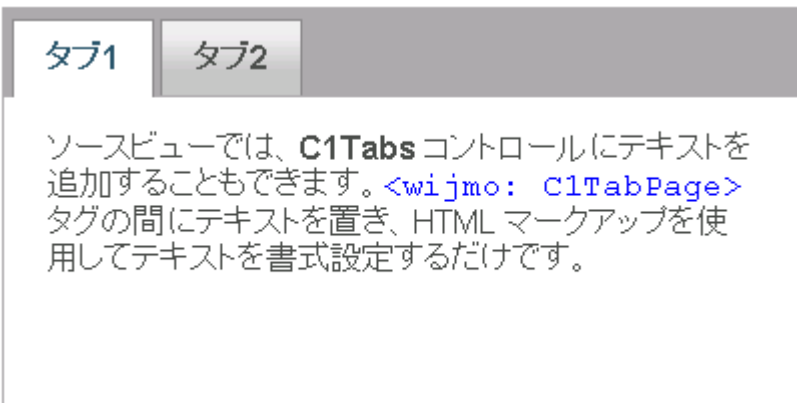
ソースビューでは、`<cc1:C1TabPage>` タグの間にテキストを置くことによって、**C1TabPage** にテキストを追加できます。テキストを書式設定するには、XHTML マークアップを使用します。

ソースビューでテキストを **C1TabPage** に追加するには、以下の手順を実行します。

1. ソースビューに切り替え、次のテキストと XHTML タグを `<cc1: C1TabPage>` タグの間に貼り付けます。

```
ソースビュー
ソースビューでは、<b>C1Tabs</b> コントロールにテキストを追加することもできます。
<span style="color: #0000ff; font-family: Courier New">&lt;w;ijmo: C1TabPage&gt;
</span> タグの間にテキストを置き、HTML マークアップを使用してテキストを書式設定するだけです。
```

2. 「**デザイン**」タブをクリックしてデザインビューに切り替え、C1Tabs コントロールの C1TabPage にテキストが追加されていることを確認します。結果は、次の図のようになります。



配置の変更

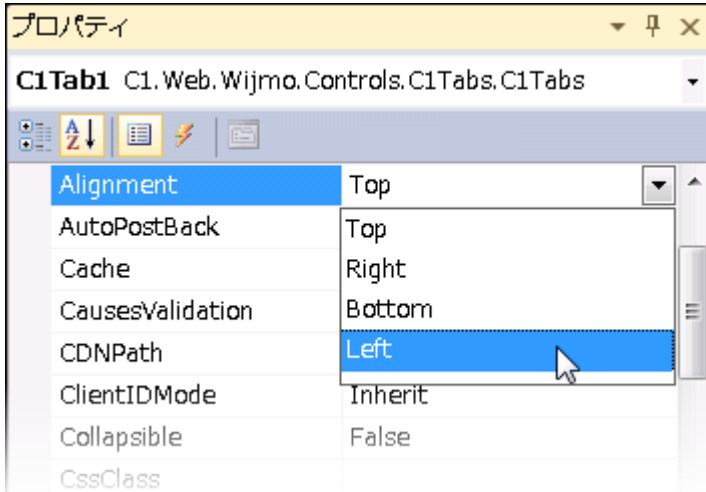
C1Tabs コントロールのデフォルトの向きは水平であり、コントロールの上部に配置されますが、その配置は **Alignment** プロパティを設定することによって、容易に下部、左、または右に変更できます。以下の手順では、デザインビュー、ソースビュー、およびコードを使用してタブストリップの配置を変更する方法を説明します。詳細については、「[タブストリップの配置](#)」を参照してください。

デザインビューの場合

プロパティウィンドウで、**C1Tabs** コントロールが選択されていることを確認し、Alignment プロパティのドロップダウン矢印をク

Tabs for ASP.NET Web Forms

リックして、リストから **Top**、**Right**、**Bottom**、または **Left** を選択します。この例では、**Left** に設定します。



ソースビューの場合

ソースビューで、`Alignment="Left"` を `<cc1:C1Tabs>` タグに追加します。その結果、XHTML は次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Tabs ID="C1Tabs1" runat="server" Alignment="Left" >
```

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
Imports C1.Web.Wijmo.Controls.C1Tabs
```

C# コードの書き方

```
Title Text
using C1.Web.Wijmo.Controls.C1Tabs;
```

2. 次のコードを `Page_Load` イベントに追加します。

Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
C1Tabs1.Alignment = Alignment.Left
```

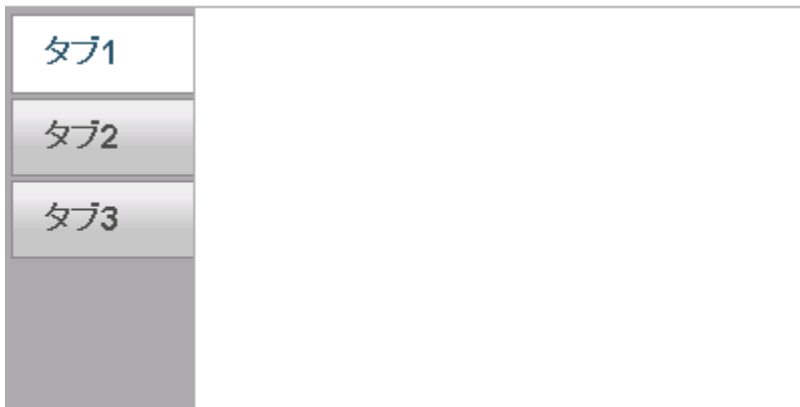
C# コードの書き方

```
Title Text
C1Tabs1.Alignment = Alignment.Left;
```

3. プログラムを実行します。

✔ このトピックの作業結果

次の図は、左向きのタブストリップを持つ C1Tabs コントロールを示しています。






選択インデックスの変更

C1Tabs コントロールの **Selected** プロパティを使用すれば、プロジェクト実行時に選択されるタブを決定できます。次のトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードで、このプロパティを設定する方法を示します。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Tabs** のスマートタグ () をクリックして、[**C1Tabs タスク**] メニューを開き、[**タブデザイナー**] を選択します。
C1Tabs デザイナーフォーム が表示されます。
2. <子項目の追加> ボタン () を使用して、3つのページを **C1Tabs** に追加します。
3. ツリービューから **C1Tabs** を選択し、そのプロパティリストを表示します。
4. **Selected** プロパティを指定し、その値を1に設定します。

 **注意:** **SelectedIndex** プロパティのデフォルト値が 0 であることを確認してください。この設定のままにした場合、**C1Tabs** は最初のタブ **C1TabPage1** が選択された状態でロードされます。

5. <OK> を押してから、プロジェクトを実行します。実行時に2番目のタブページ **C1TabPage2** が選択されることを確認してください。

ソースビューの場合

`Selected="1"` を `<cc1:C1Tabs>` タグに追加します。結果の XHTML は次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Tabs ID="C1Tabs1" runat="server"
    SelectedIndex="1">
```

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 次のコードを **Page_Load** イベントに追加します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
C1Tabs1.SelectedIndex = 1
```

C# コードの書き方

Title Text

```
C1Tabs1.SelectedIndex = 1;
```

-
2. [F5]を押して、プロジェクトを実行します。